



ご挨拶  
Greetings

社会福祉法人 絢会

2020年2月中旬から、国内でもじわじわと新型コロナウイルス感染症が増加をたどり、私たちは日常の【普通の暮らし】が出来ない状況になりました。学校は近代の学校制度が始まって以来、前例がないといわれる長期休校となり、店頭からはマスクや除菌アルコール類、一時はトイレトペーパーも消えてしまうという状況です。

新型コロナウイルス感染症の流行のなか、私たちは、万一お年寄りが感染してしまったら、自分や家族が感染していたらという不安と緊張のなかで、介護現場を守ることを第一に考えてきました。従来の感染症予防に加え、より厳重な手洗い・うがい等の徹底、面会制限や在宅サービスへの対策、職員の健康管理の対策の徹底に努めました。

しかし、この厳しい状況のなかでも【喜び】はありました。我が事として法人を心配してくださる方々の存在。行政や施設関係団体も一丸となって、この窮地を安全に、運営を継続していけるようフォローしてくれていること。改めて気づかせてくれました。

今現在、緊急事態宣言解除後、著しく感染者が増加している状況です。しかし、国としては【感染防止】と【経済活動】の両立を意識して慎重に判断しているようです。当法人でも、【感染防止】と【普通の暮らし】の両立を意識し、全てを諦めず、出来る事に目を向けて運営していきたいと考えています。

施設長 吉川真弓

## たまきっず倶楽部 ～ 夏の思い出を子供たちに ～



＊たまきっず倶楽部：夏休み、冬休み限定の職員の子供たちの学童

写真：2020年3月～5月臨時開催時

今年3月、新型コロナウイルス感染対策として国から休校要請がありました。玉樹では働くお母さんのため、たまきっず倶楽部を「臨時」で開催。コロナウイルスは、子供たちから学校生活を奪いました。その影響で授業が遅れ、今度は夏休みまで…通常の3分の1の長さです。海やプール、家族旅行など楽しみにしていた「夏の思い出」を、宿題の絵日記に綴ることも難しい状況です。

そんな中、今年の夏休みも感染対策を徹底して、たまきっず倶楽部を開催することになりました。短い夏休みですが、働くお母さんのサポートはもちろんのこと、コロナ禍で学校生活や楽しみを奪われた子供たちが、少しでも笑顔で過ごすことができ、たまきっず倶楽部で過ごした時間が、夏の思い出の1ページになってくれたら嬉しく思います。

文：佐藤 あすか



楽しみ Event

社会福祉法人 絢会 夏祭り

2020.7.28



今年はお祭りや御神輿など地域の「夏の行事」が全て中止となってしまいました。

そこで、気分だけでも【夏】を感じていただけたらと、感染対策をして施設内で縁日風に夏祭りを開催♪





## 家族の不安を解消したい！

2020年8月より、『家族と情報共有できる』新しい介護記録システム「ケアコラボ」を導入しました。目的の一つは、ご利用者の生活をしっかりサポートし【ご家族の不安を解消】するためです。そのためには、ご家族とコミュニケーションを密にとり情報共有して、信頼関係を築いていくことが大切だと考えています。

これまで、ご利用者が玉樹で過ごしている様子や体調の変化などは、在宅は送迎時や連絡帳で、入居は面会時や電話でお伝えしてきました。しかし、言葉だけでは伝えきれない部分もあり、認識のズレが生じて、ご家族を不安にさせてしまうこともありました。面会時も他ご利用者の対応中でお話できないこともあります。そんな現状をケアコラボで改善していきます。

### ケアコラボ【家族共有機能】のメリット

#### いつでもどこでも確認でき、情報共有が早い

職員が1人1台記録用のスマートフォンを持ち、日常のケアを記録。ご家族にすぐ情報公開できます。ご家族は、スマートフォンに送られてきたメールのリンクを押すだけなので、時間と場所を選ばずケア記録を確認できます。

#### ご利用者の「生活が見える化」できる

「写真」や「動画」で、普段の様子や体調の変化を正確に分かりやすく伝えられる

#### ご家族からも発信ができる

コメント機能を使い、ご家族からも職員に伝えたいことを文章や写真で発信できます。



※上記はイメージです。

入居のご家族は、「そばにいてあげられない、何もしてあげられない」という葛藤がある方も多いです。ケアコラボの活用で生活が見えない不安を解消し、家族からもコメントの発信ができることで、離れていてもご家族と職員が「一緒に力を合わせて」ご利用者の生活を支えているという気持ちなれたらと思います。また、在宅のご家族は、ケアコラボの情報を自宅でのコミュニケーションや介護に活用していただければと思います。

※ケアコラボの「家族共有機能」は、【在宅】は2020年8月より順次ご説明して運用を始めています。【入居】は2020年秋頃を予定しています。



## ちゃんとケアする



今年度は、玉樹が大切にしている『ケアの方向性』と『根拠』をしっかりと再確認するため、現任研修（入社2年以上の介護職員を対象とした研修）の充実を図っていきます。

現任研修を実施することで、自分自身のケアを振り返り、ケアする上での不安や疑問が解消できることがねらいです。

### 『排泄ケアについて』 6～7月にかけて全5回実施

#### 理論

##### ・体の仕組み

- ＊年齢を重ねると尿漏れしやすくなる原因
- ＊頻尿と睡眠の関係
- ＊尿意・便意の有無や伝達の仕組み等

##### ・使用する排泄アイテムの特徴

##### ・お年寄りの個々の生活をどう支えていくべきか

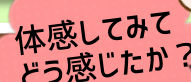
#### 技術

##### ・テープ止めオムツの当て方

オムツを当てる側・当てられる側どちらも体験し、実際にお年寄りの立場になって体感します。ポイントを押さえて、漏れないよう手際よくきれいに当てるのが大事です。

オムツを当てる側の力加減や手の動かし方によっては、不快に感じる場合もあれば、逆に職員の動かす手から愛が伝わり気持ちよさを感じる場合もあります。

実際に体感しないと分からない事なので、とても大事にしている研修です。



### 『看取りについて考える』 9月～10月実施予定

DVD『象の背中～旅立つ日～』を鑑賞し、死について考えます。死生観を養うような内容になっています。自分の大切な人の死を想像し、どう考え、何を感じたかを話し合います。

実際にお年寄りの看取りを一番近くで支える職員の不安や疑問を解消し、お年寄りご家族には、少しでも後悔が残らないよう過ごしていただくために努力をしていきたいと考えています。



あなたは最期にどんな言葉を贈りますか？

今後も職員のケアを振り返る機会を作り、玉樹が目指している「一人ひとりしっかりと関わる。ひとりをちゃんとケアする」を実践していきます。そして、お年寄りやご家族に安心していただけるようケアの質の向上に取り組んでいきたいと思ひます。



## 『 想う 』

私はこの『想う』という表現がとても心地よく好きです。

玉樹に入職して他職員の記録に目を通していると「思う」ではなく「想う」という言葉を使用していました。「思う」と「想う」の違いは？と調べてみました。

「思う」は頭の中で考えて感じたときに使う。『想う』は心におもい浮かべた感情、物事や人に対してある感情を抱くときに使う。と書かれていました。ご利用者とはいつも心で繋がっていたいと想っている私にとってぴったりの表現文字でした。

ある日、夕食時にミイさんから「今晚は味噌汁ぬいてください。」とお話がありました。いつもは「今日の味噌汁はおいしいね」と喜んで食べてくださるのに……。

理由を伺うもなかなか話してくれません。諦めきれない私はもう一度聞いてみると、「……………。味噌汁飲むと、夜おしっこが出ちゃうんだよ。何回も行くようになってしまったよ。」でした。私が「夜中のトイレにもしっかりとお手伝いさせていただきますよ。だから大好きなお味噌汁を飲んで下さい。」とお伝えしても、やはり答えは「飲まないよ。」でした。

私は、夜中のトイレ介助で不愉快な想いをしたことがあったのかな…と心配になり「ミイさん。トイレのときに、何か嫌なことでもありましたか？」と聞いてみました。

すると、「嫌なことなんか一つもないよ。でも……………。夜中に何回も先生たち（職員）に来てもらうんじゃ悪いなあと思って。」と小さな声で話して下さいました。

ミイさんは、いつも私たちに「ありがとう」と笑顔で言葉を伝えてくださいます。そんなミイさんに少しでも辛い、諦めるような感情を抱かせてしまっていたことにとても胸が苦しくなりました。

その後は、私たち職員のミイさんを想う気持ちも伝わり、大好きなお味噌汁も召し上がってくださっています。

ミイさんの「人を想う」という言動に改めて「私たちこそいつもありがとう、ミイさん。大好きです。」と伝えたいです。





## 目標を持つこと！

玉樹だよりの「機能訓練」の記事を読んだことがきっかけで、リハビリを目的としてデイサービスを利用することになったジュンさん。

デイサービスを利用する前は、家の中で歩く時に、左足のつま先が上がりづらく、引きずるように歩いていたそうです。

リハビリで歩く練習をしている時には、「また杖で歩けるようになりたい！」、「またグランドゴルフができるようになりたい！」とお話して下さっています。

ジュンさんと私の目標は、【1人でも杖で歩けるようになる！】です。

その目標を達成するために、ジュンさんにとって大切な“ストレッチ”や“筋力トレーニング”、“歩く練習”を実施しています。「家の中だと長く歩くことが少ない。」との声も聞かれ、デイサービスに来ることで、いつもより長く歩ける環境も良いリハビリになっています。

また、一人でもできる簡単なストレッチや筋力トレーニングの方法を紙に書いて渡すことで、自宅でもリハビリができるようサポートしています。



固くなった足の筋肉をほぐします（約20分）



ゴムチューブを使用して筋力アップ！



1階フロアを2周して歩行姿勢等アドバイス

1週間に1度のデイサービスの利用ですが、リハビリを始めてから6ヶ月。現在は、左足のつま先の引っかかりが少なくなり、スムーズに歩けるようになってきました。

リハビリをした後に、「先生、歩きやすくなったよ！」と言っただけだと、とても嬉しく思います。一緒に成長と喜びを感じることができる瞬間です。

私とじゅんさんのリハビリはまだまだ始まったばかりです。

これからもリハビリを継続して、第一目標の「1人でも杖で歩けるようになる！」を達成して、その先の【グランドゴルフができるようになる！】という目標まで、じゅんさんと二人三脚で頑張っていきます。

目標をもつことで、今やるべきリハビリのメニューが明確になり、向上心が生まれ、モチベーションアップにも繋がります。





## その方らしい生活を続ける効果

2020年1月から、じゅげむを利用しているシツエさん。以前は、野菜作りやゲートボールなどを楽しみながら生活されていました。ところが、2019年3月、腰痛で動けなくなってしまうと、普段していたことが出来なくなり、ボーッとする事が増え、日付が分からなくなるなど記憶が曖昧だったそうです。そんな中、じゅげむを利用することになりました。

そこで、私たちはシツエさんの“好きなこと、得意なこと”をまた楽しんでもらえたらと、野菜作りを教えていただくことにしました。毎年、玉樹の畑で育てているジャガイモの種蒔きにお誘いすると「良く土の中に入れて少し土をかぶせてやらないとダメなんだ」と、一つひとつ丁寧に蒔いてくださいました。

その後、2週間経っても種蒔きしたことを覚えていて、「そろそろ芽が出たかな?」と気にかけてくださり、一緒に手入れしてくださいました。

テラスで育てている野菜も「大きくなったかな?」と覚えていて、毎回とても嬉しそうに手入れしてくださいます。

また、大好きだったゲートボールは難しくても、“同じように勝ち負けがある”曜日対抗ゲームに熱心な姿が見られました。「これは面白いよ」「またやりたい♪」と声をかけて下さるので、“好きなこと”を楽しんでいただけるよう様々なゲームを企画しています。

ある日、「明日も来るの?」と聞かれ、「今度は土曜日です」と伝え、「土曜日だな」とカレンダーに印をつけてご自宅に持ち帰りました。すると、次の利用日、いつもは「今日は何日だっけ?」と職員に尋ねていたのですが、ご自身で間違いなく日付を書いている姿が見られ、私たちも嬉しくなりました。



野菜は大きく  
なったかな?

今日は  
7月18日  
土曜日!



記憶の維持

過去の暮らしをヒントに、『シツエさんらしい!』が詰まった「得意なこと」「好きなこと」を続けた結果、じゅげむに来ることが楽しみになって利用日を意識するようになり、「野菜の成長はどうだろう?」と考える事で印象も強くなり、記憶を維持することができると改めて学ばせていただきました。

これからも、【その方らしい生活】を続けるために、“現在”のご利用者だけを見るのではなく、病気やケガをする前の【過去の暮らし】にもしっかりと目を向け、取り組んでいこうと思います。



## 夏に要注意！高齢者に多い病気

今年の梅雨は、連日の雨と蒸し暑さで体調を崩している方が多いのではないのでしょうか？  
新型コロナウイルス第2波の脅威もあり、高齢者にとっては厳しい季節です。

この時期に注意が必要な病気は特に脳梗塞です。体が脱水状態になりやすく、脱水が起きると血液中の水分が不足して粘度を増し、血栓ができやすくなるためです。

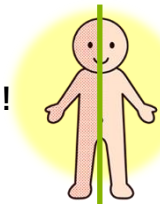
### 脳梗塞は予防と早期発見が重要！

予防  
対策

こまめに水分補給をしましょう！尿の色が濃い時は水分不足のサイン！  
血液がドロドロ状態になり、血管が詰まりやすくなるのを防ぎます。

症状

・手足や顔のしびれ、力が入らなくなる・目が見えにくい  
・言葉が発しづらい・平衡感覚が狂い、立てなくなる …など



ほとんどの症状が片側に  
起こるのがポイント

これらは脳梗塞の前兆「一過性脳虚血発作」の可能性があります。症状は数分から数十分程度で治まることが多く、そのまま放置してしまうと脳梗塞を発症する確率が高まり、長期入院や後遺症のリスクも高くなります。特に発作後48時間以内は発症のリスクが高いため、すぐ病院受診してください。

長期入院や後遺症は、在宅生活が困難になる等、その後の生活に大きな影響があり、ご本人もご家族の負担も大きくなります。そうならないように私たちケアマネジャーは、ご利用者の健康状態を確認し、ご家族や福祉事業所と情報共有を図り、適切なアドバイスやサービス提供をして在宅生活が続けられるよう支援していききたいと思います。

文：美野 絹子



## 報告 社会福祉法人 絢会 2019年度 収支決算書

科 目 (支出)	本年度予算	科 目 (収入)	本年度予算
人件費支出	268,706,409	介護保険事業収入	417,111,164
事業費支出	57,626,885	借入金利息補助金収入	1,100,000
事務費支出	56,041,884	経常経費寄付金収入	92,116
支払利息支出	2,691,613	受取利息配当金収入	873
その他の支出	1,840,058	その他の収入	4,275,925
設備資金借入金元金償還金支出	32,202,000	設備資金借入金収入	4,000,000
固定資産取得支出	11,307,700	施設整備等補助金収入	0
ファイナンスリース債務の返済支出	3,937,680	その他の活動による収入	182,306
その他の活動による支出	2,082,550		
当期資金収支差額	-9,674,395		
計	426,762,384	計	426,762,384

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております。

発行：社会福祉法人絢会 発行責任者：吉川 秀貴

撮影・編集：絢会の仲間たち&佐藤あすか

〒300-3572 茨城県結城郡八千代町菅谷 1021-1

TEL 0296-49-3886 FAX 0296-49-2987

Mail info@tamaki.or.jp

＜絢会の事業所一覧＞

- ・特別養護老人ホーム 玉樹
- ・ショートステイ 玉樹
- ・デイサービスセンター玉樹
- ・デイサービスセンターじゅげむ
- ・居宅介護支援事業所 玉樹

